

(株) ぐうだ住設
代表取締役

PICK UP

THE PERSON

合田 孝一

KEY WORD

天職

— tenshoku —

自分に相応しい仕事とは、どのような仕事なのか——
多くの人が一度は頭を悩ませたことのある問題の一つだろう。
その一人、「がむしやりに頑張り、人に喜ばれたい」との想いを持つ合田社長は、
その想いの強さ故に適職に人一倍悩み、道を模索し続けてきた。
悩む中で辿り着いたのが、水道や設備などの修理・メンテナンス業。
技術を突き詰め、困っている人の問題を解決し、人々の喜びをつくる。
人々の喜びがダイレクトに伝わるこの仕事は、大きなやり甲斐を社長に与えた。
まさに天職。今日も社長は、確かなやり甲斐と喜びを胸に事業に取り組んでいる。



「修理業は達成感とやり甲斐がある
私にとっての最高の仕事です」



Dankan

After the Interview

「『誠心誠意、良い仕事をしたい』との想いを強く持つが故に、苦しい道のりを歩んできた合田社長。それでも心底夢中で打ち込める仕事に巡り会えたことは、とても幸せなことだと思います。今後もその喜び・感動を大切に、歩みを進めていって下さいね」

pick up the story

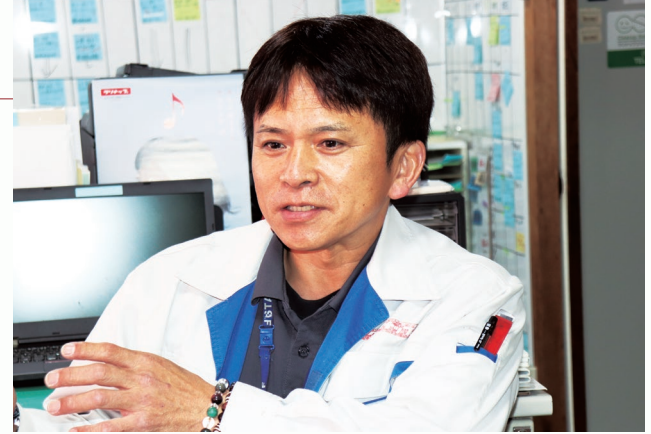
さらに多くの仲間たちと共に、好きな道を歩み続けていきたい

『ごうだ住設』の事務所に貼られたスケジュール表は、ぎっしりと予定が詰まっていた。例年なら春先は閑散期だが、今年の同社の仕事は好調。さらに今後はレンジフードを扱う会社の仕事も請ける予定で、今後は事業を2本柱にするそう。そうなる必要となるのが、さらなる人材の確保。業界は人手不足が続いており、良い人材を確保することは容易なことではないが、「小さな会社だからこそ人を大切にし、アットホームさを売りに人を引き込んでいきたい」と合田社長は語る。そして迎えたスタッフたちにも好きな仕事に意欲を持って打ち込んでもらい、皆と手を取り合って歩んでいくことが、社長が現在描く夢なのだ。

Kouichi Gouda

Profile

学生時代はサッカーや野球に打ち込んだスポーツ少年で、学業修了後は自衛官となる。その後はルート営業の仕事などを経て、現在も続く修理業に従事。住宅設備・ガス・水道など様々な分野を学んだ後、2013年にシステムキッチンのアフターサービスにて独立。2018年には法人化も果たし、現在に至る。



ダンカン

タレント

合田 孝一

(株)ごうだ住設
代表取締役



『クリナップテクノサービス』の契約店としてアフターサービスを手掛ける『ごうだ住設』。システムキッチンの不具合やトラブルなどに駆けつけて問題を解決し、誠意ある仕事と接客で高い評価を得ている会社だ。毎年のように表彰もされている同社を率いる合田社長は、仕事に全力で取り組むことに強いこだわりを持つ人物。本日はタレントのダンカン氏がインタビューとなり、仕事に懸ける想いと、その想いの強さ故に平坦ではなかったという社長の半生について伺った。

を伸ばすことができる」ということを知ったのです。

——それは、後々にも生きる貴重な体験だったでしょう。

そうですね。あくまでも良かったのですが……。その体験が、私を後々まで苦しめることになるのです。私はその後も「がむしゃらに頑張つて認めてもらう」ことを繰り返し、いつしか「自分はがむしゃらに頑張らなければならぬ」と自身や環境に過剰に努力を求め、妥協できない性格になっていました。退官後にルート営業に従事したのですが、やがて感じたのは、「これは自分のしたい仕事ではない」。仕事に打ち込んで自分を高めることのない環境や、お客様と一定の「良い関係」を築いて利益を得る仕事が嘘の世界のように思え、だんだん許せなくなつてしまったのです。なかなか「この人についていこう」と思えるようなお手本となる人に巡り会えなかったことも出口が見えない一因だったのかもしれない。営業だけでなく、どんな仕事も自分には合わないのではないかとその想いと苦しみを、当時は感じていました。

——そうでしたか……。どのようにしてその苦悩から抜け出したのですか。

営業の仕事に悩んでいるところに、偶然水道の修理やメンテナンスを手掛けている方と知り合いました。その方は仕事ができている人柄も素晴らしく、「この人のようにになりたい」と思つたのです。また、私も彼に倣つて別の修理の仕事に従事したところ、大きな喜びを得ることができました。物が直つて達成感を得られる喜び。お困りごとが解消されてお客様が微笑み、「ありがとう」と感謝して下さることの感動——私にとつ

てそれはかけがえない喜びで、修理の仕事が好きになり、もっと技術を身につけたいと本格的に学ぶようになりました。

——尊敬できる人を通して、打ち込める仕事に出会つたんですね。その後、どのような技術を学ばれたのでしょうか。

本場に様々なことを学んできたと思います。最初は「住宅関係で設備であったり水道であったりガスであったり色々あるけど、全然詳しいところを知らないな」と思い、設備会社に入つて技術や知識を身につけました。また、キッチン設備メーカーで施工管理や工場の仕事を覚えた後、『パナソニック』のアフターサービスの仕事に従事。その後は『クリナップテクノサービス』のシステムキッチンのアフターサービスを手掛けるようになり、やがて支援して下さる方の助けもあつて、2013年に独立。『クリナップスマイルショップ』として歩むようになったのです。

——事業を始めてみて、手応えはいかがでしたか。

お客様でここまで順調に推移しています。新規の取り付け工事は施工会社さんが行い、当社はその後の無償修理期間の対応やクレームの対応、その後の有償の修理などを担っています。伺った先のお客様が物凄い剣幕で怒っていることもあるなど大変さもある仕事ですが、しっかりと仕事を果たし、丁寧にこ対応していると、最後には笑顔で「ありがとう」と言っていただけで、それが大きなやり甲斐となっています。

——水を得た魚のように生き活きとしておられますね。

本当に日々楽しく仕事に打ち込むことができています。嬉しいことに、そうした仕

——まずは合田社長の歩みから伺います。社会人としての第一歩はどのようなものだったのでしょうか。

最初に就いた仕事は自衛官でした。近所に住む自衛隊の方が勧誘に来られ、その方が熱心で、「一度自衛隊に入つてみるのも良いかな」と考えたのです。それに私は一時は体育教師を目指していたほどスポーツ好きで、体を動かすことや、自分で自分を追い込んでいくことが好きでしたから、向いているのではと思っていました。

——ほう。自衛隊ですか。実際に取り組んでみていかがでしたか。

新隊員は最初の3カ月は教育隊に入つて基礎的な訓練を行い、その後適性により職種と勤務地が決められるのですが、私は運が良かったのか思いの外訓練が上手くいきまして、最終的には同期90名の主席になっていました。そして入隊3カ月後には姫路駐屯地の連隊長伝令に任命されたのです。

——それは素晴らしいですね！優秀な人材として認められた訳だ。

いえ、たまたまですよ（笑）。自衛隊の訓練の中で大きな発見もありました。私は学生時代に野球やサッカーに熱中し、運動に自信を持ち、自分の限界がどこまでかを知っているつもりでいました。ところが、自衛隊でがむしゃらに頑張つてみると、限界と思つていたところが限界ではなかった。「人間は頑張れば頑張るほど、限界値

事ぶり、技術力や接客対応が評価され、毎年のように近畿地区で表彰もしていただいているんですよ。3年連続で2位になったこともありまして、2018年には全国CSS店で2位となり、その時に法人化することもできました。ありがたいことです。

——とことん技術を追求し、人の喜びにダイレクトに関わる仕事が社長に合っているのでしょうか。今後も是非、打ち込める仕事に邁進していただきたいですよ。

ありがとうございます。同様に、一緒に頑張つてくれるスタッフたちにも、好きな仕事に楽しく打ち込んでいってほしいですね。スタッフたちとは堅苦しくなく、伸び伸びと働ける、家族のような関係で一緒に働いていければと思います。規模が大きくならなくても構いません。少数精鋭で笑顔があふれる会社にしていくことが、今後の私の目標です。

クリナップスマイルショップ

株式会社 ごうだ住設

兵庫県神戸市西区竜が岡 2-17-2

URL : <https://atcompany.jp/goudajusetsu>